

タイムライン防災・カンファレンス 2022 in 東京(板橋区・足立区)

実施要項

1. 開催趣旨

日本国内でタイムライン防災の取り組みが始まってから9年が経過しました。

全国各地で水害タイムラインが策定・運用される中で、台風や前線性の大雨で「命を守った」事例が報告されています。このタイムライン防災の取組を通じた地域の防災関係機関や住民の情報共有や連携の深まりは、確実に災害対応の効率化・迅速化に結び付いていて、その有効性が実証されています。またタイムライン防災も、水害対応に止まらず、大雪対応や地震津波災害対応、新型コロナ感染症対応など様々な防災対応の重要な取組として拡がっています。

一方で、タイムラインの策定は行ったものの担当者の人事異動により取り組みが継続されない、ふりかえりや訓練を行わず、継続的に活用されないなどの課題もいくつか垣間見られています。

いま「タイムラインを作る」ことから、「実効的なタイムラインとしていく」段階にあると考え、全国で取り組みを共有し改善を話し合う場が必要と考えています。

本カンファレンスは、全国各地でタイムライン防災を行っている自治体の首長、実務担当者、風水害に関わる防災関係者が一堂に会し、各地のタイムライン防災の取り組みやタイムラインの課題とその対応策等について意見交換を行う事で、より実効的なタイムラインの策定や運用に資することを目的としています。

タイムライン防災・カンファレンスは、今回 初の首都圏での開催を迎えます。

開催地である東京都板橋区・足立区は 2016 年より国土交通省荒川下流河川事務所による荒川下流タイムラインの検討に参加し、検討・運用に取り組み続けております。特にコミュニティタイムラインの策定運用が早い段階で進められておいて、令和元年東日本台風では荒川の水位上昇に対応して、区民独自にコミュニティタイムラインを立ち上げ、結果的に足立区 3 万 3 千人の避難に繋がっています。

その経験等や現在の取組を全国に発信すべく、初の首都圏での開催として実施する次第です。

奮ってのご参加をお願いします。

<タイムライン防災・カンファレンスについて>

タイムライン防災・カンファレンスは、全国各地のタイムライン防災の普及・発展を目指して、行政担当者、関係機関などの情報共有を図るべく 2016 年度より年に一度開催しております。

初年度は三重県紀宝町、2017 年度は熊本県球磨村・人吉市、2018 年度は大阪府貝塚市、2019 年度は北海道滝川市・札幌市、2021 年度は岐阜県多治見市で開催してきました。

2. 実施概要

- ・実施場所：東京都 板橋区、足立区
- ・実施日：令和 5 年 1 月 31 日(火)～2 月 2 日(木)
- ・参加対象：風水害に関わる防災関係者ならびにタイムライン防災に関心のある方々や団体
(地方自治体、地域住民、河川管理者、気象官署、報道機関、企業 等)
- ・主催等：主催／タイムライン防災・全国ネットワーク国民会議
後援／国土交通省 関東地方整備局
協力／NPO 法人 環境防災総合政策研究機構
- ・事務局：タイムライン防災・全国ネットワーク国民会議事務局、板橋区、足立区

3. プログラム(案)

タイムライン防災・カンファレンス 2022 in 東京(板橋区・足立区) プログラム(案)

日付	時間	項目	内容・その他	会場	対象者
1月31日 (火)	12:30 ～	受付	—	浮間舟渡駅	地方自治体・河川管理者・気象官署実務担当者
	13:00 ～ 17:00	現地見学 (エクスカーション)	・コミュニティタイムライン作成地区、高台まちづくりの見学	現地 (板橋区・足立区)	
2月1日 (水)	9:30 ～	受付	—	板橋区立文化会館 >小ホール	地方自治体・河川管理者・気象官署実務担当者
	10:00 ～ 12:30	実務担当者 ワークショップ 第1部	・各参加者からの取り組み紹介 ➢ 板橋区・足立区から防災等に関する取組紹介 ➢ 参加者から夕防災等に関する取組紹介		
2月1日 (水)	13:30 ～ 17:30	実務担当者 ワークショップ 第2部	・開催地挨拶 ➢ 板橋区長からの挨拶 ・タイムラインの取組事例紹介 ・グループディスカッション ➢ タイムライン防災に関するグループでの意見交換 ・ポスターセッション ➢ 参画機関・自治体が作成したポスターによる意見交換	板橋区立文化会館 >大会議室	地方自治体・河川管理者・気象官署実務担当者
	9:30 ～	受付	—	足立区 ギャラクシティ >多目的室1・2	地方自治体・河川管理者・気象官署実務担当者、コミュニティタイムライン住民代表者
10:00 ～ 12:00	コミュニティ タイムライン 住民会議	・各地区の紹介 ・トークセッション(住民による意見交換) ➢ テーマ1:運用・改善時の課題 ➢ テーマ2:作成時の課題 ・質疑応答			
2月2日 (木)	13:00 ～	受付	—	足立区 西新井文化ホール >ホール	自治体首長、関係機関職員、有識者 ※一般公開
	13:30 ～ 16:30	公開 シンポジウム	・開催地挨拶 ・招待講演、記念講演 ・話題提供(荒川下流域における分散避難の取組紹介) ・実務担当者 WS 結果の発表 ・CTL 住民会議結果の発表 ・パネルディスカッション		

4. 会場

2月1日の板橋区、2月2日の足立区におけるカンファレンス会場は、以下の通りである。

4-1. 2月1日(水) 板橋区会場

■板橋区立文化会館

住 所:東京都板橋区大山東町 51-1

電話番号:03-3579-2222

最寄り駅:東武東上線「大山」駅 北口から徒歩約 3分

都営三田線「板橋区役所前」駅 A3 出口から徒歩約 7分



板橋区立文化会館の位置図

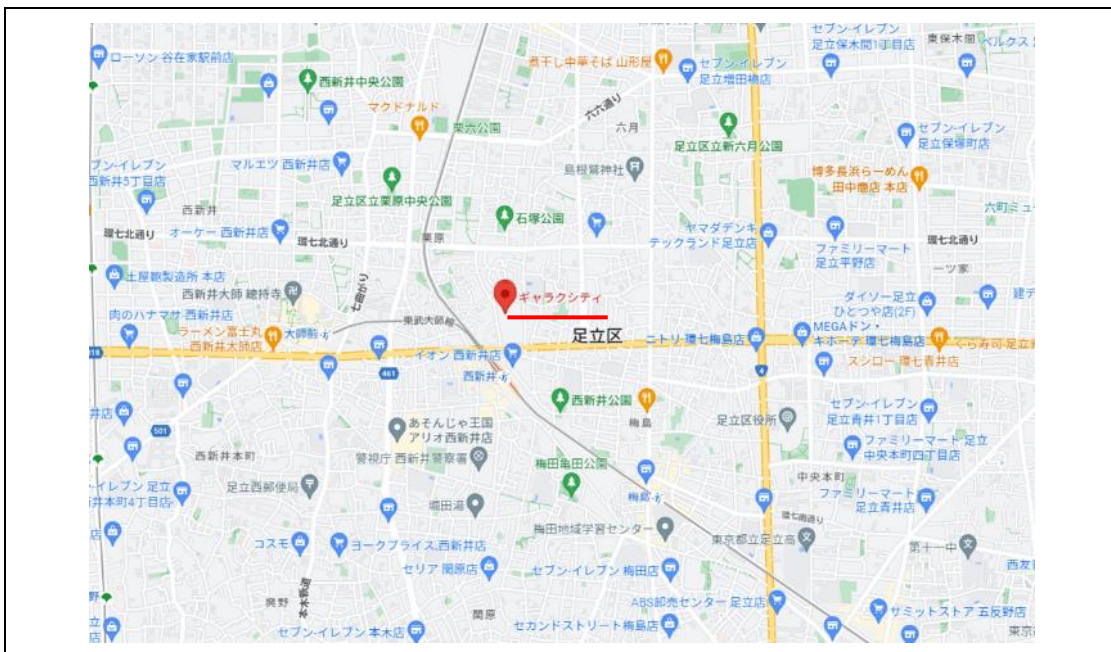
4-2. 2月2日(木) 足立区会場

■西新井文化ホール・ギャラクシティ

住 所:東京都足立区栗原 1-3-1

電話番号:03-5242-8161

最寄り駅:東武スカイツリーライン「西新井」駅 東口から徒歩 3分



西新井文化ホール・ギャラクシティの位置図

5. 参加費・参加申込先・昼食

カンファレンスの参加費、参加申込先・問い合わせ先、昼食は、以下の通りである。

■参加無料

※2月2日分の昼食(仕出し弁当)の実費

■参加申込・問い合わせ先

タイムライン防災・全国ネットワーク国民会議事業事務局

タイムライン防災・カンファレンス担当

NPO 法人 環境防災総合政策研究機構(CeMI) 担当:広田、荒木

Tel:03-3359-7971

Mail:conf-tokyo@tl-council.org

■昼食

- ・1月31日(火):昼食なし
- ・2月1日(水):会場周辺の飲食店
- ・2月2日(木):会場にて仕出し弁当(費用は参加受付時にお支払い)

6. エクスカーション (1月31日(火) 板橋区・足立区)

板橋区・足立区におけるコミュニティ防災や高台まちづくり等に関する現地見学を行う。

- 実施時間:1月31日(火) 13:00~17:00 (受付開始 12:30~)
- 参加者:地方自治体・河川管理者・気象官署実務担当者
- 参加人数:40名程度(要申込)
- 移動方法:マイクロバス(3台)+運営車(レンタカー1台)
- 見学場所:
 - ・板橋区(舟渡地区、新河岸地区)
 - ・足立区(小台・宮城地区、本木・関原地区) 等
- 集合・解散場所
 - ・集合場所 | 浮間舟渡駅
 - ・解散場所 | 北千住駅

7. 実務担当者ワークショップ（2月1日(水) 板橋区会場）

全国からタイムライン防災に関わる実務担当者が集まり、各種テーマに沿った事例紹介と意見交換を行う。結果は翌日の公開シンポジウムの場で発表する。

7-1. 第1部(午前) 参加者からの取組紹介

- 実施時間:2月1日(水) 10:00~12:30 (受付開始 9:30~)
- 実施場所:板橋区立文化会館 小ホール(定員:306席)
- 参加者:地方自治体・河川管理者・気象官署実務担当者
- 参加人数:150名程度(要申込)
- 実施内容:

実務担当者ワークショップ 第1部 実施内容案

時刻	所要時間 (分)	項目	内容
10:00	30	板橋区・足立区の取組紹介	板橋区・足立区から地域の特色や観光、防災の取り組み等を紹介する。
10:30	120	各機関の取組紹介	コーディネーター:兵谷芳康 全国危険物安全協会 理事長 参画機関・自治体から防災上の取り組み等を紹介する。 (7分×15程度)

7-2. 第2部(午後) グループディスカッション・ポスターセッション

- 実施時間:2月1日(水) 13:00~17:00
- 実施場所:板橋区立文化会館 大会議室(定員:300名(テーブルありで150名程度))
- 参加者:地方自治体・河川管理者・気象官署実務担当者
- 参加人数:150名程度(テーブル議論80名程度)(要申込)
- 実施内容:

実務担当者ワークショップ 第2部 実施内容案

時刻	所要時間 (分)	項目	内容
13:30	10	開催地挨拶	・板橋区長による挨拶
13:40	120	グループディスカッション	タイムラインの取組事例紹介、タイムラインに関するテーマについて課題や悩みの共有・意見交換を行う。 ・コーディネーター:小河保之 元大阪府副知事 ・ファシリテーター:井上智夫 京都大学客員教授
15:40	110	ポスターセッション	参画機関・自治体が作成したポスターを用い、意見交換を行う ・ポスター内容:次頁補足参照

■ポスターセッションとは

- ・ポスターセッションとは、研究開発や取り組みの成果等を1枚のポスターにまとめ、発表者が見学者に對面でその内容を伝える発表形式です。
- ・2月1日(水)のポスターセッションでは、会場にみなさまのポスターを貼り、発表者と見学者に分かれ、ポスターを通じて意見交換を行います。(発表者と見学者は時間で交代)



■ポスターの形式・印刷・持ち込み等について

- ・ポスター内容:タイムラインに関する内容であれば自由(基本様式は以下の通り)
 - タイトル/地域の概要(地域の位置、特色、特産物、観光地等)/タイムラインの検討経緯と概要/タイムラインの運用効果と課題 ※次頁参照
- ・出力サイズ:自由(基本 A0 サイズ)
- ・出力用紙:自由(事務局で印刷する場合は半光沢紙)
- ・枚数:A0 サイズで1~2枚
- ・ポスターの持ち込み・印刷について:
 - すでにポスターを印刷している場合、もしくは自前で印刷する場合:当日持ち込み、もしくは事前に事務局へ郵送をお願いいたします。
 - まだポスターを印刷していなく、事務局で印刷する場合:事前に事務局へポスターのデータを送付をお願いいたします。印刷費は自前になりますので、後日、印刷費の請求書を郵送いたします。印刷費は、A0 版片面カラーで税込5,000円、A1 版片面カラーで税込2,500円となります。

〇〇タイムラインの取組み報告

〇市町村(及び〇〇川)の概要

位置図や写真等

説明文

(文字数、フォント、大きさ等指定なし)

〇〇タイムラインの検討経緯と概要

説明文

(文字数、フォント、大きさ等指定なし)

図や写真等

〇〇タイムラインの運用効果と課題

説明文

(文字数、フォント、大きさ等指定なし)

図や写真等

説明文・図・写真等の位置・範囲は自由です

ポスターセッション用ポスター様式

美唄市におけるタイムライン取組報告

美唄市の概要



美唄市は、札幌市と旭川市の間に位置しており、東部の丘陵地帯から西部の石狩川に至る平野地帯に広がる人口約2万1千人の田園都市であります。かつては道内有数の石炭の町として栄えおりましたが、エネルギー政策により大半が閉山し、現在は稲作を中心とした穀倉地帯で優良米の一大生産地であります。

気候は、夏は30度を超え、冬はマイナス20度を下回り、年降雪量は約700センチであることから特別豪雪地帯に指定されています。

過去の水害は、昭和56年に市内の広範囲が浸水し、床上・床下浸水が1千戸を超える被害がありました。また、昭和63年には、床上・床下浸水被害が653戸ありましたが、以降は大きな被害は発生していません。

タイムラインの検討経緯と概要

検討の経緯

平成28(2016)年度

災害対策本部の本部員・班長約40名によるDIG訓練を3回開催する中で、タイムラインに搭載する行動内容や役割分担を洗い出し、行動のタイミングを整理することにより、タイムラインを策定した。

平成30(2018)年度-令和元(2019)年度

年1回、本部員・班長約40名により、タイムラインの行動項目を順番に確認していく読み合わせを行うことにより、行動や役割分担を見直しするとともに、職員の理解を深めている。

これまでに、台風接近等によりタイムラインに基づいた警戒活動を行っているが、避難勧告等の発令には至っていない。

タイムラインの概要

- 「いつ」「だれが」「何をするか」明確にしている。
- 災害対策本部の部長及び班長がDIG訓練を通して、タイムラインを作り上げるにより、部署ごとの役割分担を明確化した市職員対象のT1としている。
- 56水害の時間軸を使用し、適切なタイミングを明確にしている。
- 行動ごとに主担当を定めることにより、防災担当以外でも自律的に行動するようにしている。
- 行動項目ごとに5WIHを記載した詳細版を作成することにより、行動を具体化している。

【通常版】

【詳細版】



職員によるDIG訓練による策定作業



読み合わせによる見直し作業

タイムラインの運用効果と課題

運用効果

- 所属部署の役割確認や他部署との連携の大切さ、課題を抽出できた。
- 職員の防災に対する意識が向上し、自律的に行動しなければならないという意識を高める事ができた。
- 実際の災害対応において、余裕をもって、項目ごとの行動を起すことができた。

課題

- タイムラインを効果的に運用するためには、防災部局以外の職員においても内容を把握して、自律的に判断して行動できる体制とすることが必要である。
- 行動内容が非常に多いことから、各職員が自らの行動を把握しやすい内容とする必要がある。
- 事前予測が難しい局地的大雨にも対応できるタイムラインとしたい。

ポスターセッション用ポスター例(美唄市 令和元年10月作成)

8. コミュニティタイムライン住民会議（2月2日(木) 足立区会場）

コミュニティ TL に先進的に取り組む地域住民からの情報提供により、さまざまな地域の取組状況、コミュニティ TL 作成・運用時の悩みや苦勞したこと、それら解決策等について共有し、関係機関・自治体職員と共に意見交換を行う。結果は公開シンポジウムの中で発表する。

- 実施時間:2月2日(木) 10:00~12:30 (受付開始 9:30)
- 実施場所:ギャラクシティ 多目的室 1・2(186 席)
- 参加者:地方自治体・河川管理者・気象官署実務担当者、コミュニティタイムライン住民代表者
- 参加人数:80 名程度(要申込)
- 参加地区(調整中):板橋区、足立区、須坂市、取手市、紀宝町、大豊町、球磨村、北見市、諫早市
- 実施内容:

コミュニティタイムライン住民会議 実施内容案

時刻	所要時間 (分)	項目	内容
10:00	10	取組紹介	動画・スライド形式で地区と CTL、住民代表の紹介を行う。
10:10	110	トークセッション	住民による CTL 作成・運用時等の悩みや苦勞したこと、それら解決策等について意見交換を行う。 ・コーディネーター:村中 明 CeMI 気象防災センター長 ▶ テーマ 1:運用・改善時の課題 ▶ テーマ 2:作成時の課題 質疑応答 →コミュニティタイムライン住民会議の検討結果をとりまとめ、公開シンポジウムにて発表

9. 公開シンポジウム（2月2日(木) 足立区会場）

自治体首長、関係機関、有識者等が登壇者となり、タイムラインの効果や課題、今後の展望を議論する。

●実施時間:2月2日(木) 13:30~16:30（受付開始 13:00）

●実施場所:西新井文化ホール

●登壇者:(下記 実施内容案参照)

●観覧者:

・関係機関・自治体職員(要申込、人数制限あり)

・Webによる配信(URLの公開)

●実施内容案:

公開シンポジウム 実施内容案

時刻	所要時間 【分】※	項目	内容
13:30	10	開催地挨拶	・足立区長からの挨拶 ・国土交通省 関東地方整備局長からの挨拶
13:40	40	講演	・有識者や関係機関等による講演(調整中) ・招待講演 太田 昭宏 元国土交通大臣(TL導入時) ・記念講演 河田 恵昭 関西大学 特別任命教授
14:20	15	話題提供	・開催地である、荒川下流域における分散避難の取り組みを報告 ・発表者:出口 桂輔 荒川下流河川事務所長
14:35	10	実務担当者 WS 結果の発表	・2月1日に行った実務担当者ワークショップの結果発表 ・発表者:実務担当者ワークショップ代表者
14:45	10	コミュニティ TL 住民会議結果の 発表	・2月2日午前中に行った住民会議の結果発表 ・発表者:住民会議代表者
14:55	10	休憩	※舞台転換
15:05	75	パネル ディスカッション	・テーマを設定し、それぞれのテーマに関わりの深い TL 国民会議参画首長代表者・関係機関による意見交換 ・コーディネーター:松尾 一郎 東京大学大学院 客員教授 ・パネリスト:(調整中) 国土交通省(代表)、内閣府政策統括官(防災)、総務省消防庁次長、気象庁防災気象監、 県知事(参加の場合)、 足立区長、全国の市町村長等(登壇者は検討中)
16:20	10	タイムライン 国民会議宣言	・タイムライン国民会議総会にて採択された国民会議宣言の発表 ・発表者:西田健 タイムライン国民会議 議長